

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	棚等の配置について十分な広さの通路が確保されるよう配慮しております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	児童が活動しやすいよう配慮して環境を設定しています。日々、清掃と消毒を欠かさずおこなっております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	児童の状態や希望に応じて部屋を提供しています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	7	0	その日勤務の職員が前う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月1回リフレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	7	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	保護者向けにアンケートを実施してまいります。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日の朝礼や毎月行われるリフレクシオン会議を通して職員の意見を共有しております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	4	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	より良い支援について話し合う機会をもっと確保できるよう努めてまいります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	6	公式Webサイトにて公表しております。	公式Webサイトを確認するようにします。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	5	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	分析する時間を多く持てるように努めてまいります。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	5	放課後等デイサービス計画を作成する前に、児童の支援に関わる職員が参加するサービス担当者会議を実施し、計画の内容を検討しております。	情報共有の時間を多く持てるように努めてまいります。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	5	放課後等デイサービス計画については職員間で共通認識を図り、熟知したうえで支援に取り組んでおります。	計画に沿って支援できるよう、共有する時間を増やすよう努めてまいります。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	7	標準化されたアセスメントツールを使用して、状況の把握に努めております。また事業所だけでなく通って状況の変化も確認させていただいております。	日々の行動の観察をアセスメントに反映させる流れを作るよう努めてまいります。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しを行っています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	児童発達支援管理責任者、理学療法士が中心となって保護者様の意向、全職員の意見を踏まえたうえで活動プログラムの立案、実施、振り返りを行っております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	全職員でより良い支援ができるよう話し合い、固定化しないような活動を検討し、取り組みを行っております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	7	当日の療育や一日の流れ、役割分担について分かりやすく図式化された表をもとに、打ち合わせを行っております。	朝会などで、子どもたちの支援内容について話し合う機会を持てるよう努めてまいります。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後は、現場にいる職員で振り返り等を行っています。送迎で不在の職員には翌朝の打ち合わせや職員の連絡/反応を活用して情報を共有し、児童の様子や反応、支援の方向性について周知、共有しております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で周知したり、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	4	定期的にモニタリングを行い、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。	計画の見直しが適切に行われるように定期的にモニタリングを行ってまいります。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	0	7	児童発達支援管理責任者が放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」をもとに支援計画を作成しており、それに沿った支援を実施しております。	ガイドラインに基づく「4つの基本活動」について職員間で理解を深める機会を作れるようにしていきます。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	1	6	児童の意見や思いに寄り添いながら、自己決定をする力を育てるための支援を行っております。	声掛けや支援の中で、自己決定ができる機会を育んでいくようにします。	
	関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	0	7	対象児童について、事前に職員間で話し合い、児童把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	担当者会議の日程調整を早い時期に行えるよう努めてまいります。
		27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	7	協力医療機関を定めております。また、幼稚園や学校と情報共有をするなど連携して支援につなげております。	協体制作りを行ってまいります。
		28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	送迎時に行事予定やその日の様子、体調など情報交換をおこなっております。また、送迎時間の変更なども事前に連絡、確認しております。	
		29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7	児童発達支援事業所等との間で情報共有をおこない、相互理解ができるよう連携を密にしております。	今後保育所等訪問の機会を使って情報共有を密に行っていくようにします。
		30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	現在までに対象児童の卒業はありませんが、提供を求められた際は保護者様に確認を取り、必要な情報を提供できるように努めております。	現在Cloverでは学校を卒業し、福祉サービスに移行する利用者様はいませんが、今後は情報の共有を検討してまいります。
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		0	7	現時点では地域の児童発達支援センターとの連携をとることができておりません。	今後支援センターと連携を図り、研修や助言を受けられる機会を検討してまいります。	
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		0	7	感染症予防のため交流はできておりません。	共生社会の実現に向けた後方支援、児童の社会参加や、他の児童も含めた集団中での成長を支援できるよう、学童や児童館など一時的な支援事業所等と連携をしながら、専門的なバックアップをおこなってまいります。	
33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		0	7	感染症予防により参加はできておりません。	感染症予防の観点から参加は自粛させていただいております。来年度はリモートによる積極的に参加するとともに、地域移行や障害者虐待防止策等のためのネットワークを強化したいと思っております。	
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		7	0	日頃から保護者様との情報交換に努め、連携を図っております。随時その情報を職員同士が共有・更新できるように報告し合い、記録するなど把握に努めております。		
35 家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		0	7	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	送迎の機会を使って保護者様の悩みに寄り添い、必要な助言や効果的な支援方法とその都度お伝えできるよう努めてまいります。	
36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		7	0	保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を行っております。また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。		
37 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		7	0	児童発達支援管理責任者が児童や家族の意向を尊重しながら、放課後等デイサービス計画の作成にあっております。		
38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者等から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		7	0	ガイドラインに基づいて支援計画を作成しています。保護者様へは支援計画の内容を示す中で分かりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。		
39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者様がお悩みやお困りごとを相談しやすい雰囲気づくりに努め、送迎時にご家庭との連携をとる中で、日頃からさまざまなお話を親身に聴きながらおこなっております。			
40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	感染症予防のため、父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	今年度も感染症予防で実施できておりませんが、保護者様同士の繋がりを大切に、安心して子育てができるように支援の必要があることから、今後はオンライン等の充実を図る等、実現に向けて努力してまいります。		
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情窓口と責任者を配置し、相談や申し入れがあった場合、迅速に対応するように努めてまいります。			
42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	事業所より通して、活動概要や避難訓練の様子を写真を交えながらお知らせしております。			
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取扱いや保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。			
44 事業所のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	常に良い関係が築けるように、伝え方、言葉や手段の選択にも最大限の配慮をおこなっております。			
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	感染症予防のため計画していませんが、状況が落ち着いた時点で交流もできるように計画してまいります。	感染症予防の為交流は自粛していますが、地域の方々やボランティア団体との連携、及び協力を行うなど交流に努めてまいります。		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルは壁面に掲示し、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的に行っております。事業所より、前月に実施予定をお知らせし、訓練の様子は次の月の事業所より通して紹介しております。		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7	0	契約時に標準化されたアセスメントツールを使用して、状況の把握に努めております。		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	指示書がある児童については保護者様と情報共有を行い、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	年間の安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、設備の点検等を行ってまいります。		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時に安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しております。		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	0	ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して再発防止、周知ミーティングを行いながら再発防止につなげております。		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	7	0	事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めるよう努めております。		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要となる場合には、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようにしております。			

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。